

# 2014年放課後児童健全育成事業 指導員特別研修

神奈川県学童保育連絡協議会

## テーマ（内容）

第1回	<b>『放課後児童クラブの役割と指導員の仕事・実務』【講義】</b> 講師 笹川 瑞穂	
	<b>6月6日（金）</b>	<b>小田原市役所 7階 会議室</b>
	放課後児童クラブの役割と指導員の仕事のあり方について学びます。また指導員の具体的な仕事と実務について学びましょう。	
第2回	<b>『放課後児童クラブにおける安全を考える』【講義】</b> 講師 八木 晶子	
	<b>7月10日（木）</b>	<b>海老名市役所 4階 大会議室</b>
	毎日を安全に過ごすことは放課後児童クラブの基本です。万一事故などが起こった場合でも最小限のものとなるように対応・対処する必要があります。 放課後児童クラブでケガや事故が起きた時に指導員に求められる対応や、災害への日頃の準備などを学び、子どもと共に進める安全教育について考えていきましょう。	
第3回	<b>『配慮を必要とする子を含めた生活づくり』【講義】</b> 講師 飛鳥井祐貴	
	<b>9月29日（月）</b>	<b>県庁藤沢合同庁舎 5階 大会議室</b>
	障がいのある子どもなど、特に配慮を必要とする子どもがいる放課後児童クラブは増えています。障がいのある子どもと健常児が放課後児童クラブの仲間としてともに育ちあうための生活づくりとは何か、自分の要求を表現し、仲間として関わっていけるように、どのような働きかけを求められるかなどについて、具体的な実践から学びましょう。	
第4回	<b>『子ども同士のかかわり～子どもを捉える視点と働きかけ』【講義・グループワーク】</b> 講師 八木 晶子	
	<b>10月22日（水）</b>	<b>平塚青少年会館 2階 ホール</b>
	子どもたちは様々な思いを抱えて放課後児童クラブに帰ってきます。言葉が荒い、すぐにキレる、そんな様子をみせる子どもたちの背景には何があるのでしょうか。指導員の捉え方によって、子どもへの働きかけも違ってきます。「子どもの気持ちを理解する」「子どもの思いに寄り添う」ということはどういうことか、指導員として子どもとどうかかわっていくかを学びます。	
第5回	<b>『放課後児童クラブの生活とあそび（工作）』【講義・実技】</b> 講師 根野 善美	
	<b>11月6日（木）</b>	<b>アミューあつぎ 6階 ルーム601</b>
	放課後児童クラブではあそびを中心として子どもが集団で生活しています。子どもの姿やあそびの実態から、子どもにとって放課後の過ごし方やあそびの持つ意味を学び、またあそび（工作）の実技などを通して援助の仕方なども学びましょう。	
第6回	<b>『高学年を含めた生活作り』 【講義・グループワーク】</b> 講師 永松 範子	
	<b>11月21日（金）</b>	<b>小田原市役所 7階 会議室</b>
	児童福祉法が改正され、放課後児童クラブの対象児童が「おおむね10歳」から「小学生」に広がりました。これまでも6年生まで受け入れてきたところもありますが、今度初めて受け入れるところもあります。高学年を含めた生活づくりについて、悩みや不安を持ちより、実践から学び合います。	
第7回	<b>『保護者とのかかわり』【講義・グループワーク】</b> 講師 飛鳥井祐貴	
	<b>1月21日（水）</b>	<b>大和市生涯学習センター 207会議室</b>
	放課後児童クラブの目的や役割から、指導員に求められる役割の1つに「保護者との伝え合いを通じて、子どもの育つ家庭での生活を支える」があります。 子どもの生活、様子を保護者に伝えるにはどんなことを心がけ、どのように援助していくのかを学びましょう。また、毎日生活する上で特に不安やとまどい・悩みを抱え心細い思いをしている保護者からの相談に応じる必要性についても学んでいきましょう。	